

クラス番号	620	担当教員名	伊藤 美智予
テーマ	現代社会における高齢者ケアについて考える		
著書・論文 研究課題等	【主な論文】 「ケアの質評価の到達点と課題ー特別養護老人ホームを中心に」『季刊社会保障研究』48（2），120-132（2012）／「認知症の人の買い物に関する実態調査ーA 県における「家族・専門職」と「店舗従業員」を対象とする 2 つの調査を通して」『日本認知症ケア学会誌』10（3），325-338（2011）／「要介護認定データを用いた施設ケアのアウトカム評価の試みー要介護度維持・改善率の施設間比較」『社会政策研究』8，202-215（2008）／「アメリカのナースিংホームにおけるケアの質マネジメントシステムの現状と評価ーマネジャーらへのヒアリング調査をもとに」『社会福祉学』48（1），153-166（2007）. 【研究課題】 1. 事業所におけるケアの質マネジメントシステム構築に関する研究 2. 認知症の人と家族への支援方策に関する研究 3. 社会福祉専門職のキャリア形成に関する研究		
ゼミナール概要			
キーワード：ケアの質，認知症ケア，リスクマネジメント，家族支援，専門職キャリア形成，組織マネジメント			
1. 私の問題意識			
私は大学時代の老人病院でのアルバイト経験から，高齢者医療・福祉に問題に関心をもつようになりました。大学卒業後，特別養護老人ホームに勤務した経験もあります。現在では，3つのアプローチ①人づくり：ケアする側（家族，専門職）をどうケアするか，②組織づくり：ケアの質向上を志向する事業所をどうつくるか，③地域づくり：（特に認知症の人や家族を）地域でどう支えるかーから，ケアの質向上や高齢者・家族の QOL 向上について考えています。			
2. 目的			
本ゼミでは，キーワードにあるようなテーマを取り上げながら，①現代社会における高齢者ケアの現状と課題を正しく理解すること，②今後の高齢者ケアのあり方について検討することの 2 点を目的とします。 ゼミでの全体的な学びを通して，人がもつ価値観の多様性や物事の多面性など「人や生活課題をどのように捉えるか」というソーシャルワーカーに求められる基本的視点を身につけるとともに，自らの頭で考え，自らの心で感じ，自らの言葉で説明することができる人材の育成を目指します。			
3. 授業計画(内容・方法)			
概ね以下のように考えています。ゼミ内容や方法，スケジュールの詳細については，皆さんと相談しながら決めていきたいと思います。 3 年次前半は，論文執筆のための基本的スキルを身につけること，高齢者ケアをとりまく現状と課題について理解することを中心に展開します。毎回担当者（個人またはグループ）を決め，報告してもらいます。文献の読み方やまとめ方，プレゼンテーションの仕方などを学びます。 3 年次後半には，各自の問題意識を明確化し，卒業論文の具体的課題を設定します。文献学習を深めるとともに，ゼミ生の興味関心に応じて，医療・介護現場でのフィールドワークやグループ学習を積極的に取り入れます。 4 年次には，個々の関心に基づき卒業論文の執筆を進め，秋には完成させます。その後は社会福祉士国家試験に向けた学習をします。			
担当教員からのメッセージ			
	学生時代は人生において大変貴重な時間だと思います。ゼミとしても，人とのつながりを大切にしながら，自身の見聞を広め，感性を磨くことができるような場づくりや学習機会の提供を行っていきたいと思います。 「たくましく」成長しあえるゼミにしていければと考えています。新しいことにどんどんチャレンジし，何事においても積極的に学ぼうとする姿勢をもつ学生を歓迎します。 エントリーシートには，①このゼミを選んだ理由，②現段階での希望進路とその理由の 2 点について記載してください。		